

小倉薬剤師会 1月学術研修会のご案内

謹啓 先生方におかれましては 益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
さてこの度、下記の要領にて小倉薬剤師会学術研修会を開催いたします。
ご多忙中、誠に恐縮とは存じますが、万障お繰り合わせの上ご出席頂きますようお願い申し上げます。

謹白

記

【日時】 2018年 1月 16日 (火) 19:00～

【場所】 小倉薬剤師会館 3階 研修室
北九州市小倉南区富士見2丁目8番20号

【情報提供】 19:00～19:15

不眠症治療剤 『ルネスタ錠』について

エーザイ株式会社

- 【P S】
1. ヒューマニズム (倫理) : ①-1、②-6～9
 2. 医薬品の適正使用 (安全性、経済性) : ②-70、③-8～12・19・34・35
 3. 地域住民の健康増進 (薬物乱用防止、セルフメディケーション) : ②-9

【特別講演】 19:15～20:15

座長 学術委員会 入江 利行

演題 『高齢者の不眠に対する睡眠薬の使い方
～転倒・転落予防や認知症を考慮した対応～』

演者 久留米大学医学部 神経精神医学講座

教授 内村 直尚 先生

<講演会要旨>

不眠症は罹患頻度の高い代表的な睡眠障害の一つである。成人の30%以上が入眠困難、中途覚醒、早朝覚醒などいずれかの不眠症状を有し、6～10%が不眠症に罹患しているといわれている。不眠症の治療としては睡眠衛生指導や認知行動療法などの非薬物療法が不可欠であるが、多くの患者で睡眠薬が使用されているのが現状である。不眠自体が転倒・転落の誘因になるが、特に高齢者における睡眠薬服用患者の転倒・転落は大きな問題として捉えられており、睡眠薬の適正な選択によってそのリスクを下げることは可能と思われる。非ベンゾジアゼピン (BZ) 系睡眠薬はBZ系睡眠薬と比較し筋弛緩作用が少ないため、ふらつきによる転倒リスクは軽減できると考えられている。また、GABA受容体を介さないメラトニン受容体作動薬ラメルテオンやオレキシン受容体拮抗薬などを含め、転倒しやすい高齢者に使いやすい薬剤選択とその服薬指導など睡眠衛生指導について概説する。高齢者や認知症患者の転倒転落を一件でも減らすための取り組みは医療安全の観点からも医療者の責務と考える。

共催：(一社) 小倉薬剤師会
エーザイ株式会社